

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 トータルショック & ウォー		投球者 山本 勲	センター 新杉田ボウル
RG 2.509	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

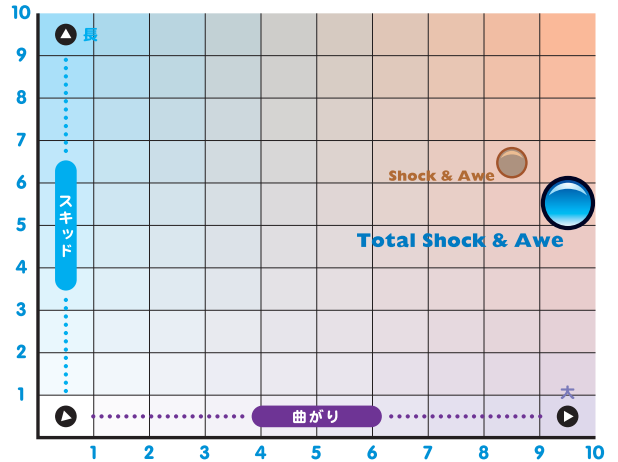
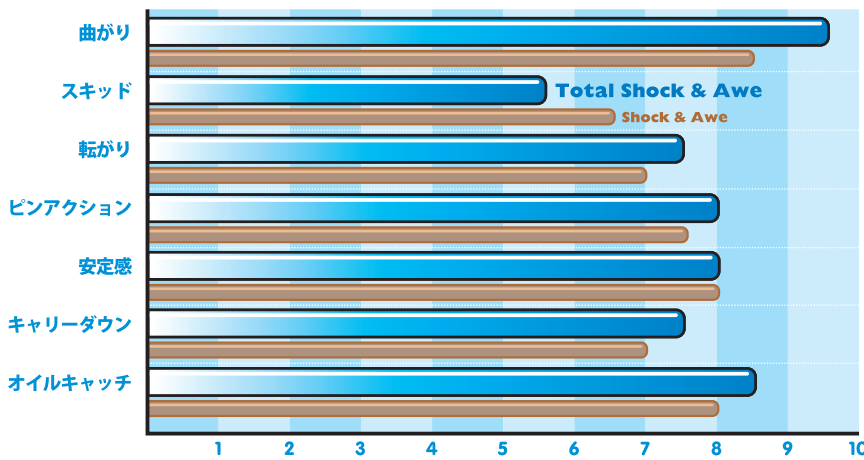
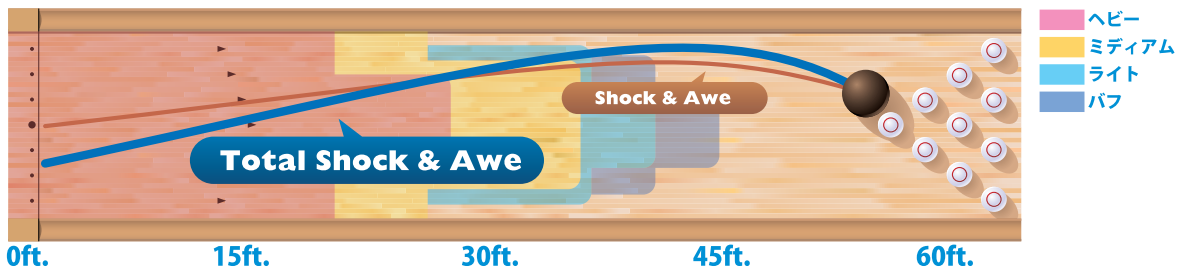
比較対象ボール：ショック & ウォー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

今回の開発コンセプトは "MORE CORE + MORE COVER" というキャッチフレーズの通り、MORICH のリアクティブの中で、一番オイルキャッチの良い "C4enhanced (Total Annihilation 同様)" を採用し、SPIN TIME の早いバンガードコアテクノロジーを組み合わせる事により、前作のショックアンドオーより、モーションポテンシャルが大きくなり、スキッドが短くなったが、バックエンドリアクションに関しては、もうひと曲がりする力強さがあり、ねじれるような動きには、実際のところ非常に驚かされた。又、カバーストックが良い為、手前のかれたコンディションには不向きで、手前のオイルを有効的に使わないとこのねじれるようなバックエンドは得られない。対応コンディションは、ヘビー～ミディアムに適していて、特に、

- ①朝一のコンディション
- ②Long oil コンディション
- ③アーマーレーン

などに絶好に合うと思います！

特記事項

ショック & ウォーでバックエンドの動きが足らず、タップするイメージのラインでも、このトータルショック & ウォーでは、飛ばすことが出来るでしょう！また、ショック & ウォーより、"HOOK OUT" 状態を作りやすく、ストライク確率が更に上がる事は間違い無いでしょう！